

## 靴選び 慎重に

子どもの靴選びは難しいものです。サイズ、形、デザイン、好みなども気になりますが、子どもの足が靴の助けによって育ち、立つ、歩くという機能を獲得する時期であることを忘れてはいけません。

「日本フットケア・足病医学会」によると、靴には3つの機能があるそうです。

①全体重を支える。 ②歩行や運動の衝撃を吸収して圧力を分散する。 ③効率的に地面を蹴って進む。

では、どのようにして適切な靴を選べばいいのでしょうか。次の4つのポイントが、最低条件です。①サイズが確認できる中敷きがある。 ②かかとに芯が入ってきちんと足を支えられる。 ③靴ひもやベルト、面ファスナーでしっかり固定できる。 ④前から3分の1ぐらいで靴底が曲がる。



メーカー、製品ごとにサイズや幅が違い、長さだけで選ぶのは禁物です。子どもに履かせ、指が左右から圧迫されたり、靴の中で足が滑ったりしないかを確認めます。また、「つま先立ち」をさせ、サイズや形が

合わず、かかとが靴から出たり、爪や指が当たって痛んだりするものは避けましょう。

【令和5年5月23日 南日本新聞より】

## 子どもの笑顔のために

右上は、何をしているのでしょうか？

これは、3歳児の「ボディペインティング」の一コマです。自分の好きな場所に、思いのままに指や手・足で描いています。敷いた紙だけでなく、お互いの体にも色を付け合



いました。

楽しみながら描いた壁画は、これから行う「お化け屋敷」に使うとか…。どうなるか楽しみです。

下をご覧ください。辺り一面、プリンカップや卵ケースなどに入った様々な色の水が…。4歳児が色水遊びに夢中です。自分の好きな色を使ってゼリーやアイスクリーム、お菓子づくりに挑戦。その中で、赤と白を混ぜるとピンクに、青と赤では紫、黄色と青は緑など、様々な発見もあります。なかには、粉石けんを混ぜて色のついたシャボン玉ができるかを試している子も…。



このように、担任をはじめ職員が、子どもの「やってみたい。どうなるんだろう。」などの好奇心を大切にする保育や環境づくりを行っています。

## 保管に注意を！

先般、園の保育屋にボタン電池が3個落ちていました。園内の玩具等を点検しましたが、ボタン電池は使われていません。これを受け、園児の誤飲等が起こらないように、玩具等の点検をはじめ保育室の使用前後に環境確認を入念に行っています。

ボタン電池は、体内に入ると大きなけがにつながる物の一つです。ご家庭でもお子様の手が届かない所への保管や管理にご注意ください。